

「どうやったら理科の知識が身に付きますか？」

最近、このような質問をされま
した。受験勉強以外で「知識を身
に付けよう」と意識したことがな
かったので即答できませんでし
た。その後、自分自身を振り返り、
その答えが見つかったので今回は
それについて語ります。



子どもの頃、「わらしべ長者」

③ 京都にバナナ？



大阪成蹊大准教授 福岡亮治



という絵本が好きでした。とある
男がアブをしばったわらをミカン
と交換し、ミカンを絹の反物と交
換、絹の反物を馬と交換・・・と
価値のあるものに交換し、最後は
大金持ちになるという話です。わ
らしべという、ささやかな物が、

疑問持ったら知識得るチャンス

数珠つなぎにより最後は大きな成
果になる。とてもすてきなお話で
す。

突然ですが、写真を見てくださ
い。これは何でしょう？

写真の下部にあるのが花、上部
にはバナナの様な果実がついてい
ます。最初に発見したのは大阪、
屋外で「バナナ」が育っている事
にとても驚きました。

そして、「大阪で育つならば、
京都でも屋外で育っていないかな
？」という疑問が生まれ、京都で

も散歩のたびに「バナナ」を探し、
1年かけて発見したのがこの写真
です。



バナナといえば、南国で栽培さ
れているイメージがあります。そ
こで、「これは本当にバナナなの
か？」という新たな疑問が生まれ
ました。

調べてみると、バナナは花(厳
密に言えば花序)の色が紫色に近
く、黄色であるこの植物は、実は
バショウであることが分かりまし
た。漢字の表記は「芭蕉」です。
そこで「あの有名な俳人と関係
あるのかな？」という疑問が生
まれ、松尾芭蕉の名前の由来と
なっていることが判明しました。
つまり、300年以上前からバ
ショウは日本で育っていたので
す。

ここまできると、「食べること
ができるのかな?」「寒さに強い
のかな?」「松尾芭蕉との関係を
詳しく知りたい」と新たな疑問が
次々に生まれてきます。
大阪の屋外で発見したバショウ
から、疑問が生まれ、解決してい
くうちにより詳しい知識を得る。
そして、さらに疑問を持ち、解決
することでより詳しい知識とな
り、より深い疑問が…。「わらし
べ長者」の話の様に数珠つなぎで
疑問がどんどん発展していきま
す。理科に限らず知識を身に付け
る秘訣は小さな疑問に向き合うこ
と。

これは、教育や育児でも同じで
す。もし、散歩や日常の生活の中
で子どもが疑問を持ったら知識を
得る大きなチャンス。疑問を解決
しながら、つなげていけば豊かな
学びに発展していくかもしれませ
ん。